

# 抽出された要素

## 明確なつなぎ役の設置が必要

前提・・・専門職は協働を前提とした専門職ではなく、  
多職種連携教育を十分には受けていない

現状・・・個々のケースに必要な際に多職種が連携し  
一つの対象の支援を行う事が出来る

地域包括ケアシステムの構築に向けて・・・

多職種の役割・専門分野を相互に理解する

連携し、協働関係を構築し、地域を支える事の社会的意義、  
時代のニーズ、住民の願いを理解できるよう促し続ける事が必要

# 抽出された要素

地域全体の実態を把握する**総監督** = **行政**

- 統計データに基づく住民の実情
- 住民ニーズ
- 地域資源やその動き(人・物・情報・資金)
- 今後の想定される地域変化  
(正・負の変化)
- 全国や周囲地域との偏差

# これからの 在宅医療推進事業

平成25年度より

地域医療再生基金等を活用し、  
市町村が主体となって、  
医師会等医療関係者と連携し、  
都道府県の支援・助言も得つつ、  
医療と介護の連携拠点機能を設置し  
地域の活性化を行う

# 在宅医療連携拠点事業所 活動紹介

## I 秋田県

横手市地域包括支援センター

II 岩手県 釜石市

III 東京都 板橋区医師会

IV 福岡県 宗像医師会(むーみんネット)

# I 秋田県

## 横手市地域包括支援センター

担当部署は横手市直轄の地域包括支援センター  
主要メンバーは包括支援センタースタッフ

横手市役所  
各課より2名ずつ選出し  
チームを形成し対応

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 北海道・北東北  
ブロック活動発表会資料. P5.

[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/01012025.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/01012025.pdf)

### 地域特性を意識し事業展開

5

**西部地域**

合併前から地域包括ケアを目指してきた



横手市保健医療福祉総合施設 健康の丘 おおもり

グループホーム

市立大森病院

介護老人保健施設 老健おおもり

生活支援ハウス

秋田県南部老人福祉総合エリア

介護特養 老人ホーム 白寿園

五形市等保健福祉センター 西側地域包括支援センター 在宅医療連携拠点

デイサービスセンター

健康の丘全体の定員 約600名

**担当職員**

地域ケアコーディネーター  
医療相談員歴40年  
現大学非常勤講師等

主任介護支援専門員  
老健おおもり、白寿園の  
相談員、指導員歴30年

保健師  
保健師歴32年  
病院派遣1年



# I 秋田県

## 横手市地域包括支援センター

地域包括支援センターは  
住民との関わりを得意として  
おり、

個別のケースに基づいた  
個々の多職種との連絡・  
調整も得意とする

その強みを活かし、  
プロジェクトチームが事業所  
全件へ挨拶に回り、

地域に求められている  
生活を包括した多職種の  
連携体制構築に関する説明と、  
横手市が目指す方向性への  
理解を促した

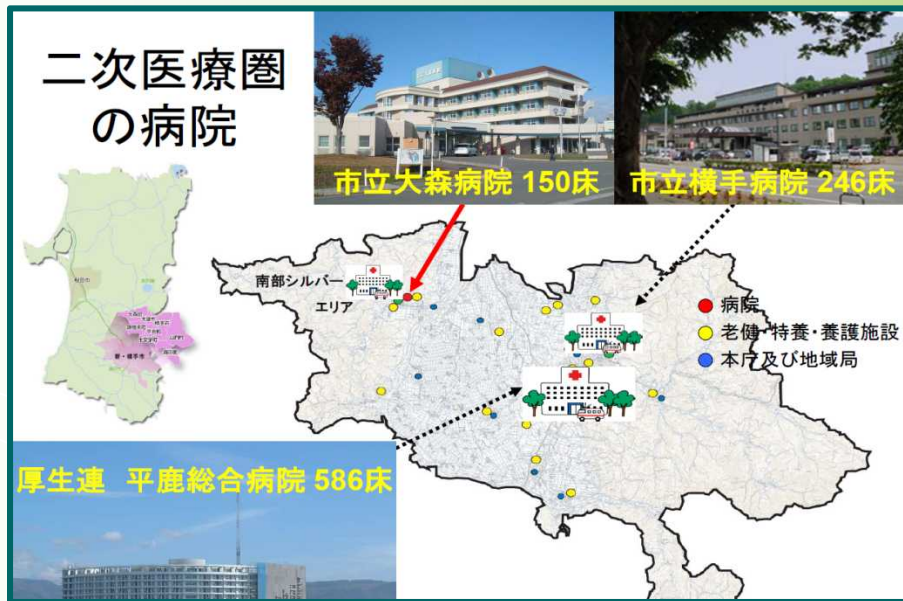
**アンケート調査を対面型で  
聞き取り、訪問型回収  
⇒顔の見える関係づくり  
の第一歩**

・医療機関	41か所(97.6%)	} 228か所 (95.5%)
・訪問看護ステーション等	5か所(100%)	
・居宅介護支援事業所	32か所(96.9%)	
・介護施設等	58か所(84.1%)	
・歯科診療所	41か所(100%)	
・薬局	51か所(94.4%)	

# I 秋田県

## 横手市地域包括支援センター

横手市のここがすごい！！



平成24年度 在宅医療連携拠点事業  
北海道・北東北ブロック活動発表会  
資料. P5.

[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/01012025.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/01012025.pdf)

秋田県全体の地域医療再生計画に連動し、横手市も地域再編において、より住民に近い立場として住民にとって暮らしやすい地域に向けて、市の方向性を打ち出す = **行政間での連携**  
→ 都道府県と 市行政の政策が連動しなければ住民は混乱する